

第6節 誰もが生き生きと暮らせる豊かでゆったりとした生活環境の実現

1. 目指すべき方向の視点

(1) 健康で豊かさを実感できる地域づくりの必要性

20世紀後半に急成長を遂げた我が国は、少子・高齢化の時代へ入り、「ものの豊かさ」から「心の豊かさ」を求める成熟の社会へ転換しようとしています。こうした中で、人びとの価値観は多様化し、人と人とのつながりの中から得られる生きがいや楽しみといった価値が重視されるようになり、ライフスタイルやワークスタイルが大きく変化してきています。このような価値観の変化にあわせて、一人ひとりが健康で充実した生活をおくることができるようにゆとりある生活環境の形成や地域づくりを進め、成熟した社会を形成する基盤づくりが求められています。

中部地方は、首都圏や関西圏に比べ、職住が近接し、持ち家比率が高いなど住宅環境が良好で、身近に豊かな自然があるなど生活環境に恵まれています。こうした豊かさを誰もが実感できるようにすることが、中部地方に愛着を持ち、生き生きと暮らせる糧になると思われます。

(2) 生活者の視点に立った地域づくりの必要性

中部地方は、高度経済成長期以降の急激な経済発展により、都市部への人口集中をもたらし、住宅の供給不足、交通需要の増大を引き起こしました。大量供給の必要性の中で進められてきた社会資本整備は、地域の個性や地域の資源が見落とされがちで、画一的なまちを形成するとともに、女性や子供、お年寄りや障害を持つ人といった生活者の視点が欠けていたという問題が指摘されています。こうした反省から、各地で行政と住民が協働して進める住民参加型の地域づくりなどの取り組みや住民主体のまちづくり活動が行われるようになってきています。このような機運のもと、これからの社会資本整備や地域づくりは、積極的に住民や企業、NPOなど様々な主体との対話を行い、双方の信頼関係の中でともに考え、ともにつくるというパートナーシップを築きながら進めていく地域社会の形成が求められています。

2. わたしたちの目指す地域像

- ・ 生活者の視点が尊重され、誰もが様々なライフスタイルを実現できる地域
- ・ みんなが考え、まちづくりが進められる地域

- ・ 一人ひとりが生活している実感を感じられる地域。(ビジョン討論会静岡会場)
- ・ 若者もお年寄りも豊かさを実感できる住みやすい地域。(まんなか懇談会)
- ・ 障害者や高齢者が生き生きと暮らせるまち。(ビジョン討論会静岡会場)
- ・ 子ども達が大きくなったときに、「この地域で育ってよかった」と思える地域、「この地域で子育てして本当によかった」と思える地域。(ビジョン討論会名古屋会場)
- ・ 中部が今後目指すべき方向は、日本で最も便利で住みやすい地域、お年寄りも若者も一緒に住める地域。(まんなか懇談会)

3. 地域像を実現するための具体的な目標

目標1 住宅や住環境の水準を高め、健康でより豊かな住まいづくりを推進します

(目標)

いきいきとした少子・高齢社会を支える居住環境の整備を図ります。
誰もが健康で豊かな生活をおくることができるよう、地域住民の多様なニーズに対応した住宅ストックの整備を図ります。

[地域の声]

- ・ 日本で最も便利で住みやすい地域を目指すべき。(まんなか懇談会)
- ・ 高齢者等にやさしい優良賃貸住宅の提供。(市町村長ヒアリング)

[具体的な施策および主要事業例]

- ・ 良好な居住環境を備えた高齢者向けの住宅の供給を推進します。(高齢者向け優良賃貸住宅 等)
- ・ リフォームなどによる住宅のバリアフリー化を推進します。
- ・ シックハウス¹対策を推進します。
- ・ 住宅と社会福祉施設や保育所等との一体的整備を推進します。

目標2 ニーズにあった住宅を安心して選択できる環境を整備します

(目標)

地域住民が、それぞれのニーズに見合った住まいを多様な選択肢の中から安心して選べる住宅市場を形成します。

[地域の声]

- ・ 誰もが生き生きとして暮らせる豊かでゆったりとした生活環境の実現を。(ビジョン討論会静岡会場)
- ・ 人が住み始めればそこにマーケットもできて、まちが生き返ってくる。都心居住は民間も含めてやって欲しい。(ビジョン討論会豊橋会場)
- ・ 若者定住、U I J ターンを支える公営住宅の整備を。(市町村長ヒアリング)

[具体的な施策および主要事業例]

- ・ 瑕疵保証制度²の普及等により、中古住宅市場の活性化を図ります。
- ・ 高齢者が安心して住宅を選べる環境を整備します。(高齢者円滑入居賃貸住宅の登録・閲覧制度 等)
- ・ 住宅性能表示制度³の普及を促進します。
- ・ 公共賃貸住宅情報をはじめとして、住まいに関する様々な情報提供する体制の充実を図ります。

¹ シックハウス：建材に使われた接着剤や壁材から出るホルムアルデヒドなどにより目が痛くなったり咳が出たりする症状を引き起こす住宅。新築直後、こうした症状(シックハウス症候群)が発生する住宅が問題となっている。

² 瑕疵保証制度：住宅を新築した場合に、築後10年以内(中古住宅の場合は5年以内)であれば、住宅取得者が住宅供給者に対して瑕疵担保責任(欠陥が見つかった場合に無償で修繕したり、賠償しなければならない責任)を追及できる制度

³ 住宅性能表示制度：住宅を取得しようとする人が、性能の面から住宅を比較したり評価できるように、住宅のもつ性能を統一した基準に従って評価、等級付けする制度。

目標3 公共交通機関の利便性を向上します

(目標)

自家用車を利用しなくても誰もが快適に移動できる公共交通輸送環境を向上させます。
コミュニティバスや乗合タクシーなど新しい輸送形態を念頭においた交通体系づくりを進めます。

【地域の声】

- ・ 公共交通機関の充実が必要。公共交通機関を利用するような仕掛けが大事。(まんなか討論会四日市会場)

【具体的な施策および主要事業例】

- ・ 公共交通機関のネットワークを整備するとともに、駅のバリアフリー化や乗り継ぎ利便向上など交通機関の利便性の向上を図ります。
- ・ バス車両及びバス停留場施設の快適性、利便性を向上します。
- ・ 高齢者や障害者に配慮したノンステップバス¹の導入を促進します。
- ・ バス路線において、バス車両が安全・円滑に走行できる道路整備を推進します。
- ・ コミュニティバスなど地域の特色に合った交通の導入を促進します。

目標4 IT技術を活用した暮らしに役立つ情報を入手しやすくします

(目標)

河川や流域に関する情報や交通情報など暮らしに役立つ情報や安全、安心に役立つ情報がいつでも身近なところで気軽に入手できるとともに、産業活動を高度化・迅速化する情報通信環境の整備を進めます。

【地域の声】

- ・ 行政は、インターネットを利用する方法など、計画に対する市民参加の新しい手法に取り組むべき。(ビジョン討論会豊橋会場)
- ・ IT(情報)、交通、おもてなし、この3つが一体となって人が集うまち、住み心地の良いまちができるのではないか。(ビジョン討論会伊勢会場)

【具体的な施策および主要事業例】

- ・ 河川や流域に関する情報を収集整理し、国民がそれを共有し、IT技術を活用することによって実現された安全で多様な文化を持つ国土の構築のために、「水情報国土」の構築、県においては、「情報基盤緊急整備」事業によって、国・県・市町村の防災情報を共有化するための整備を推進します。
- ・ 統合道路管理情報センターの整備の他、「2004年ITS世界会議」及び「愛・地球博」の開催、中部国際空港の開港を通して、必要な情報をわかりやすく提供します。
- ・ 電線共同溝²や情報BOX³などの情報インフラの整備により高速で低廉なネットワー

¹ ノンステップバス：[nonstep bus]ステップをなくし直接車内に乗り降りできるように設計されたバス。具体的には地上面から床面までの高さが約30cm程度など、低床バスよりも厳格な基準を満たす必要がある。

² 電線共同溝：光ファイバー、電力線等をまとめて収容する地下構造物。電柱や架空の電線が無くなるため都市景観の保全に有効である。また、阪神・淡路大震災で共同溝の破損がほとんどなかったため防災上からも見直されている。商業業務の集積地区で、良好な都市景観を保全するとともに、高度情報化社会への対応を図る目的で整備が進められている。

³ 情報BOX：光ファイバー等を収容する地下構造物の一種。

ク整備を支援します。

- ・ G I S（地理情報システム）を活用したわかりやすい情報提供を実現します。
- ・ 高度な情報通信インフラの整備や当面利用のない光ファイバー網等の民間活用を進めます。

目標5 ユニバーサルデザインが実感できる社会を実現します

（目標）

都市公園等の公共施設、鉄道駅等の公共空間へのユニバーサルデザインの導入や外国の人にもわかりやすい案内情報の提供などを推進します。

【地域の声】

- ・ 高齢者、障害者、子供、乳母車を引いたお母さんなど、すべての人が住みやすいまちづくりを。（ビジョン討論会四日市会場）
- ・ 高齢者が車に乗れなくなったときにトコトコ歩いて買い物したり暮らしたりという街を目指したい。（ビジョン討論会豊橋会場）
- ・ 街路空間へのユニバーサルデザインの導入を。（市町村長ヒアリング）

【具体的な施策および主要事業例】

- ・ 高齢者・障害者等が円滑に利用できるよう公共空間のバリアフリー化やITSによる移動支援を推進します。
- ・ バリアフリー歩道整備などによる、自転車・歩行空間の整備とバリアフリー化を推進します。
- ・ 駅地下横断歩道へのエレベーター設置等交通結節点のバリアフリー化などによって、鉄道駅等の交通結節点や主要な施設を含む周辺地域等の面的バリアフリー化を推進します。
- ・ 道路、駅、空港、港湾等の公共施設のユニバーサルデザイン化を推進します。
- ・ 園路のバリアフリー化や福祉施設との一体的整備等により、乳幼児から高齢者まですべての人が安全かつ快適に利用することができる都市公園の整備を推進します。

目標6 安全で安心して移動できる生活環境をつくります

（目標）

交通安全対策の推進や、事故危険箇所の対策など事故等の未然防止と被害軽減を図るとともに、歩行者優先の道づくりなど、誰もが安心して歩行できる生活道路を確保します。

【地域の声】

- ・ 高齢化に伴い、交流を担う道路を高齢者の視点で整備していく必要があるのではないかと。（ビジョン討論会高山会場）
- ・ 人優先のまちづくり、歩車道分離、自転車のレーン等も含めて、もう少し人が優先できるようなまちにして欲しい。（ビジョン討論会名古屋会場）
- ・ 歩道の整備、電線地中化等による歩行者空間の確保を。（企業ヒアリング）

【具体的な施策および主要事業例】

- ・ 交差点改良等の緊急事故対策などの交通事故対策を推進します。
- ・ くらしみちゾーンの整備などにより、歩行者、自転車優先の道路利用による交通安全

を推進します。

- ・ 交通安全対策を充実・強化させます。
- ・ 鉄軌道事業者に対しては、近代化事業や踏切道を改良するなど安全対策を推進します。
- ・ バス・タクシー事業者及び船舶事業者に対する、監査や講習を実施します。
- ・ 船舶の航行安全を図り、水面利用の適正化を図るため、放置艇等プレジャーボート等の適正な係留・保管を推進します。

目標7 誇りを持って住むことができる地域づくり・まちづくりを目指します

(目標)

大都市や拠点都市以外の地方都市において、便利で快適な生活をおくることができるよう生活環境の向上を図ります。
中心市街地(まちなか)の活性化や、子育てしやすい環境形成など充実した生活をおくることができるといふ住み心地のよい地域づくりを目指します。

[地域の声]

- ・ 子供達が大きくなったときに、「この地域に育って良かった」と思える地域、親が「この地域で子育てして本当に良かった」と思える地域であってほしい。(ビジョン討論会名古屋会場)
- ・ それぞれの地域が誇りを持って光らせる。歴史とか文化とか自然の環境に磨きをかけることが必要。(ビジョン討論会伊勢会場)

[具体的な施策および主要事業例]

- ・ 著しい海岸侵食によって失われた砂浜を回復させ、海岸、海洋を利用したレクリエーション活動の支援を推進します。
- ・ 電線類地中化事業の推進によって、無電柱化による美しい街並み、都市空間を形成します。
- ・ ウォーキング・トレイル事業などの推進によって、ゆとりとうるおいの実感できる質の高い歩行空間を整備します。
- ・ 中心市街地を活性化します。(まちづくり総合支援事業 等)
- ・ 水辺の楽校、ふるさとの川モデル事業、ラブリバー制度により、地域に開かれた河川整備を推進します。

目標8 まちづくりを進めるグループ作りやその活動および女性や子供の視点に立った活動を支援します

(目標)

地域住民の主体的な活動を支援して地域のコミュニティの醸成・活性化を図るとともに、住民参加型のまちづくりを促進し、地域住民、企業など様々な主体と行政のパートナーシップによる地域づくりを推進します。
各種のPI活動において、女性や子供の視点をもっと取り入れます。
車座集会などにおいて女性と男性の参加者数を同数程度にします。

¹ ウォーキング・トレイル：[Walking Trail] 近年増加している歩行愛好者のために、歩きやすいよう整備した道路。建設省が96年度から、市街地ではウォ・トレイル、郊外ではカントリー・トレイルとして事業化している。河川敷や海岸を含めた自然を生かしながら、史跡など地域の名所をつなぐコースを設定し、歩行者ネットワークをつくることを目指している。

【地域の声】

- ・ 市民、行政、事業者による協働のパートナーシップ型のまちづくりを支援することが重要。(ビジョン討論会浜松会場)
- ・ まちづくり、地域づくりには女性の視点、子供の視点も取り入れてほしい。(ビジョン討論会名古屋会場)
- ・ 大人では気づかない子供の視点からまちづくりを考えていくことも必要。(ビジョン討論会浜松会場)
- ・ 地域住民との理解醸成・協力によるまちづくりを。(市町村長ヒアリング)

【具体的な施策および主要事業例】

- ・ いきいき・海の子・浜づくりなどの海浜地域のもつ自然環境を活用した、野外教育、環境教育のために利用しやすい海岸づくりを推進します。
- ・ 地域の住民等が道ビジョンや河川整備計画・海岸保全計画、みなとまちづくりなどまちづくり計画に参画できるようにします。
- ・ NPOとのパートナーシップによる自然環境の環境学習プログラムを充実します。
- ・ 住民のまちづくり活動を支援する地域交流センター等の整備を推進します。
- ・ ボランティアサポートシステムを推進します。
- ・ 住民主体のまちづくりを進めるための人づくりを支援します。
- ・ 地域住民とともに考え、公共交通の利用促進や観光振興を推進します。

【当面取り組む主要なプロジェクト】

中部の豊かな住まいづくりプロジェクト

(目標 1、2、4 の達成を目指して)

少子・高齢社会に対応し、住宅・建築物のバリアフリー化、住宅と社会福祉施設、保育所等との一体的整備をすすめることにより、高齢者や子育て世帯が生き生きと暮らせる居住環境を実現するとともに、シックハウス対策を推進し、誰もが健康で快適に暮らせる住宅ストックの整備を図ります。
また、住宅性能表示制度の普及、住情報提供体制の充実等により、ニーズに見合った住まいを安心して選べる住宅市場を整備します。

<アウトカム指標(参考例)>

- ・ 住宅、建築物のバリアフリー化率の向上
- ・ 誘導居住水準¹達成率の向上
- ・ シックハウス解消率の向上 等

静岡等交通結節点ユニバーサルデザインプロジェクト

(目標 3、4、5、6 の達成を目指して)

少子・高齢社会に対応したバリアフリー社会の形成という目標の下、鉄道、港湾、空港、道路等の各事業が連携して、主要な旅客施設とその周辺の主な施設等について面的なバリアフリー化を推進します。
また、居住地域についても面的なバリアフリーや電線類地中化などによる街なみ整備を図ります。

<アウトカム指標(参考例)>

- ・ バリアフリー化率の向上
- ・ 無電柱化率の向上
- ・ 交通事故死者率・死傷事故率の低減 等

住民と協働した地域づくりプロジェクト

(目標 7、8 の達成を目指して)

未知普請プロジェクトや伊勢湾・川と海のクリーンプロジェクト、緑陰道路プロジェクト、みなとまちづくりなどの、国民と対話し協働しつつ、顧客志向の行政を展開し、住民参加型のまちづくりを推進します。
また、NPO等とのパートナーシップによる自然環境の環境学習プログラムの充実や、自然環境学習の拠点となる水辺空間(「水辺の楽校」など)を整備します。

<アウトカム指標(参考例)>

- ・ 住民参加型まちづくり機会の増加
- ・ まちづくり活動等への女性参加率の増加
- ・ 水辺交流機会の向上 等

¹ 誘導居住水準：国の住宅建設五箇年計画において設定されている居住水準の一つで、住宅ストックの質の向上を誘導するための指針となる水準のこと。